

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 24 日 (2006.11.24)

【公開番号】特開 2005-103147 (P2005-103147A)

【公開日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報 2005-016

【出願番号】特願 2003-343560 (P2003-343560)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/07 (2006.01)

H 0 4 B 7/26 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 2 0 B

A 6 1 B 5/07

H 0 4 B 7/26 M

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 5 日 (2006.10.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

導入された被検体内において所定の機能を実行する機能実行手段と、
前記被検体外からの無線信号を受信可能に構成された無線受信手段と、
前記無線受信手段によって受信された起動用信号の入力に応じて、前記機能実行手段の
起動を制御する起動手段と、
を備えたことを特徴とする無線型被検体内情報取得装置。

【請求項 2】

前記起動手段は、前記無線受信手段からの起動用信号の入力レベルに応じて、前記機能
実行手段の起動を制御することを特徴とする請求項 1 に記載の無線型被検体内情報取得
装置。

【請求項 3】

前記起動手段は、前記無線受信手段からの起動開始指示を示す信号の入力に応じて、前
記機能実行手段の起動を制御することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の無線型被検
体内情報取得装置。

【請求項 4】

前記起動手段は、前記起動用信号の入力から所定時間経過後に、前記機能実行手段を起
動させることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一つに記載の無線型被検体内情報取得
装置。

【請求項 5】

前記機能実行手段は、
被検体内の情報を取得する取得手段と、
前記取得手段が取得した前記被検体内の情報を外部に無線送信する無線送信手段と、
を少なくとも備えたことを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか一つに記載の無線型被検
体内情報取得装置。

【請求項 6】

前記受信手段で受信した前記起動用信号から電力を生成する電力生成手段をさらに備え

前記起動手段は、前記電力生成手段により生成された電圧が一定値以上になったときに前記機能実行手段の起動を制御することを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか一つに記載の無線型被検体内情報取得装置。

【請求項 7】

被検体内に導入される無線型被検体内情報取得装置と、前記被検体外に配置され、前記無線型被検体内情報取得装置で得られた情報を無線通信によって取得する通信装置とを有する無線型被検体内情報取得システムにおいて、

前記無線型被検体内情報取得装置は、

前記導入された被検体内において所定の機能を実行する機能実行手段と、

前記被検体外からの無線信号を受信可能に構成された無線受信手段と、

前記無線受信手段によって受信された起動用信号の入力に応じて、前記機能実行手段の起動を制御する起動手段と、

を備え、前記通信装置は、

前記無線通信された情報を受信する無線受信手段と、

前記起動用信号を無線送信する無線送信手段と、

を備えたことを特徴とする無線型被検体内情報取得システム。

【請求項 8】

前記起動手段は、前記無線受信手段からの起動用信号の入力レベルに応じて、前記機能実行手段の起動を制御することを特徴とする請求項 7 に記載の無線型被検体内情報取得システム。

【請求項 9】

前記起動手段は、前記無線受信手段からの起動開始指示を示す信号の入力に応じて、前記機能実行手段の起動を制御することを特徴とする請求項 7 に記載の無線型被検体内情報取得システム。

【請求項 10】

前記起動手段は、前記信号の入力から所定時間経過後に、前記機能実行手段を起動させることを特徴とする請求項 7 ～ 9 のいずれか一つに記載の無線型被検体内情報取得システム。

【請求項 11】

前記受信手段で受信した前記起動用信号から電力を生成する電力生成手段をさらに備え

前記起動手段は、前記電力生成手段により生成された電圧が一定値以上になったときに前記機能実行手段の起動を制御することを特徴とする請求項 7 ～ 10 のいずれか一つに記載の無線型被検体内情報取得システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、請求項 5 にかかる無線型被検体内情報取得装置は、上記の発明において、前記機能実行手段は、被検体内の情報を取得する取得手段と、前記取得手段が取得した前記被検体内の情報を外部に無線送信する無線送信手段と、を少なくとも備えたことを特徴とする。

また、請求項 6 にかかる無線型被検体内情報取得装置は、上記の発明において、前記受信手段で受信した前記起動用信号から電力を生成する電力生成手段をさらに備え、前記起動手段は、前記電力生成手段により生成された電圧が一定値以上になったときに前記機能実行手段の起動を制御することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、請求項 7 にかかる無線型被検体内情報取得システムは、被検体内に導入される無線型被検体内情報取得装置と、前記被検体外に配置され、前記無線型被検体内情報取得装置で得られた情報を無線通信によって取得する通信装置とを有する無線型被検体内情報取得システムにおいて、前記無線型被検体内情報取得装置は、前記導入された被検体内において所定の機能を実行する機能実行手段と、前記被検体外からの無線信号を受信可能に構成された無線受信手段と、前記無線受信手段によって受信された起動用信号の入力に応じて、前記機能実行手段の起動を制御する起動手段と、を備え、前記通信装置は、前記無線通信された情報を受信する無線受信手段と、前記起動用信号を無線送信する無線送信手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、請求項 8 にかかる無線型被検体内情報取得システムは、上記の発明において、前記起動手段は、前記無線受信手段からの起動用信号の入力レベルに応じて、前記機能実行手段の起動を制御することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、請求項 9 にかかる無線型被検体内情報取得システムは、上記の発明において、前記起動手段は、前記無線受信手段からの起動開始指示を示す信号の入力に応じて、前記機能実行手段の起動を制御することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、請求項 10 にかかる無線型被検体内情報取得システムは、上記の発明において、前記起動手段は、前記信号の入力から所定時間経過後に、前記機能実行手段を起動させることを特徴とする。

また、請求項 11 にかかる無線型被検体内情報取得システムは、上記の発明において、前記受信手段で受信した前記起動用信号から電力を生成する電力生成手段をさらに備え、前記起動手段は、前記電力生成手段により生成された電圧が一定値以上になったときに前記機能実行手段の起動を制御することを特徴とする。